

直島に

NAOSHIMA

きてみまい

瀬戸内海に浮かぶ島 直島へ

直島には何があるの?どんな風楽しめるの?どうやって計画を立てようか?お悩みを解決!

直島へのご旅行の際には
直島町観光協会の Web サイト
をぜひチェック!!

直島町観光協会

→ <http://www.naoshima.net/>

- ・ 島内飲食店、宿泊施設情報
 - ・ アート施設の臨時休館やイベント情報
 - ・ 団体のお客様へのご案内
- などなど、効率的な旅の予定を組むための情報を随時発信しております。

直島で観光

— 観る・食べる・学ぶ —

島内の主なアート施設 — ベネッセアートサイト直島 —

cycling in なおしま — おすすめ cycling root —

直島へのアクセス

新幹線で / 飛行機で / 最寄りの港から直島へ

ちいっと直島

直島は香川県に属する瀬戸内海に浮かぶ27の島々からなる、直島諸島の中の有人島。人口約3100人の島で、観光のメインとなる島の南半分を車で回ると20分ほどの小さな島です。

また、瀬戸内国際芸術祭の開催地としても有名です。ゆう〜ったりした島時間が流れる静かな島。ちいっと旅行にきてみまい。

発行：直島町役場 まちづくり観光課 TEL：087-892-2020

制作：直島町地域おこし協力隊 / 直島町観光協会 TEL：087-892-2299

食事処がある地区は「宮ノ浦」「本村」「積浦」。美術館の中に入ればカフェなどもあります。バスやフェリーの待ち時間にちょっと一息ついていきませんか？

カフェで食べる

朝食を

直島には朝食営業をしているお店もありますので、少し早めのフェリーに乗って、朝の静かな直島を満喫するのもおすすめです。



地のものを

瀬戸内産、直島産のお魚を使用した料理が食べられるお店もあります。事前に予約が必要なお店や、臨時休業のお店も多々ありますので、事前に要チェックです！



産業を

直島の基幹産業である「三菱マテリアル株式会社直島製錬所」の工場内を見学できるツアーがあります。無料で参加できますので、ぜひお問い合わせください。

※NPO 法人直島町観光協会のWeb サイトにて
→ <http://www.naoshima.net/>

建築を



学ぶ

直島にある小・中学校、町の公民館や役場の庁舎など、その他多くの建物が有名な建築家によって設計されています。これらが「直島建築」として一冊にまとまっていますので、この本を片手に島を巡るのもおすすめです。(宮浦港のお土産売り場にて販売中)

cycling in なおしま

直島のベストフォトスポットを紹介。海風を切りながらのサイクリングをぜひお楽しみください。途中急な坂道もありますので、楽に回るのであれば電動自転車がおすすめです。ぜひ、気候の良いときにゆっくり回ってみてください。島内には多くのレンタサイクルのお店があります。(宮ノ浦に4店舗、本村に3店舗)

【直島を訪れた人々を迎える 草間彌生「赤かぼちゃ」】
直島の玄関口である宮浦港のシンボリックアート。中に入れるつくりになっている。近くにある銀のイスは、海の駅「なおしま」を設計した「SANAA」が制作。



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地



「直島パヴィリオン」設計・藤本壮介建築設計事務所

【藤本壮介「直島パヴィリオン」】
新たに誕生した直島のシンボル。白いステンレス鋼の網で作られており、中に入って海風を感じながら一休みできる空間にもなっている。夜間のライトアップも幻想的。



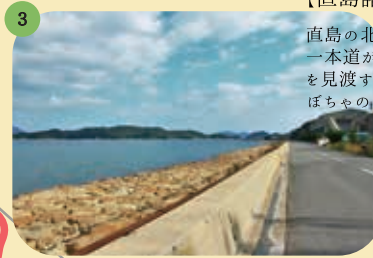
【三島喜美代「もうひとつの再生」】
直島ダムの近くに位置する、巨大なゴミ箱アート作品。中に入っている新聞なども精密に巨大化されている。地中美術館から自転車約5分。



【直島ベストパノラマスポット】
細い山道を登った先に、直島一眺めの良い場所が現れる。春になると「島つつじ」も咲き、濃いピンク色に包まれた直島を見ることができる。天気の良い日は海の方角側に高松港も見える。草間彌生「南瓜」の作品から自転車約10分。(急坂あり!)

【直島諸島を見渡せる一本道】

直島の北のエリア「産業エリア」に、海沿いの一本道があり、27の群島である直島諸島の東側を見渡すことができる。サイクリングに最適。赤かぼちゃのある港「宮浦港」から自転車約10分。



【小さなベンチから季節の花々を楽しむ】

護王神社を進んだ先に「高原城址」がある。そこには小さな公園とベンチがあり、春には桜と梅、夏は紫陽花も咲く。家プロジェクト「護王神社」から徒歩約2分。



【見通しの良い場所「直島ダム」】

直島ダムとその奥にある、安藤忠雄監修の「桜の迷宮」を上から見ることもできる見通しの良い場所。地中美術館から自転車約5分。



【みんなに愛される「琴弾地海水浴場」】

夏になると黄色い浮島や、飛び込み台なども設置されます。夜になると、きれいな星空や高松港のきらめきが見える日もあります。町営バスの終点「つつじ荘」から徒歩約1分。

直島ぐるっと一周ルート

約12km 約1時間30分

島の南側 アートを巡るルート

約8km 約1時間10分

おススメ

cycling root

※途中自転車の通行ができないところがあります。

・全てのポイントを自転車でぐるっと回るルート。

・直島の南側半分のみをぐるっと回るルート。

※歩くとき約2時間



直島 で 観光

アートを

現代アートの聖地とも呼ばれているここ直島は、美術館や屋外作品が多くあります。全てを見て回るには1日以上はかかりますので、計画をしっかりとてお越しください。



観る

景色を

瀬戸内海は栄養を多く含むため、緑色に近いきれいな海の色をしています。天気の良い日には高松港や瀬戸大橋を見ることができます。



島内の主な

アート施設

※ 月曜日は多くのアート施設

飲食店などがお休みです。

ベネッセハウス周辺

ベネッセアートサイト直島

瀬戸内海に浮かぶ直島、豊島、犬島の3つの島を舞台にベネッセホールディングスと福武財団が展開しているアート活動の総称。その中の直島の施設をいくつか紹介します。

詳しいご案内は Web で

→ www.benesse-artsite.jp

● 地中美術館



Photo:FUJITSUKA Mitsumasa

瀬戸内の美しい景観を損なわないよう建物の大半を地下に埋設した美術館。建物の設計は安藤忠雄。作品は恒久展示となっています。
開館時間：3/1～9/30 10:00～18:00(最終入館 17:00)
10/1～2月末日 10:00～17:00(最終入館 17:00)
休館日：月曜日
※ 祝日の場合開館、翌日休館 鑑賞料金：2,060 円
087-892-3755 ※ 15 歳以下無料

● 李禹煥美術館



Photo: Tadasu Yamamoto

韓国出身のアーティスト李禹煥(リウファン)の作品を展示。海と山に囲まれた谷間にひっそりと位置するこの美術館では、自然と作品と建物が呼応しながら、静かに思索する時間を与えてくれます。
開館時間：3/1～9/30 10:00～18:00(最終入館 17:30)
10/1～2月末日 10:00～17:00(最終入館 16:30)
休館日：月曜日
※ 祝日の場合開館、翌日休館 鑑賞料金：1,030 円
087-892-3754 ※ 15 歳以下無料

● ベネッセハウスミュージアム



Photo: Tadasu Yamamoto

美術館とホテルが一体となった施設。数多くの現代アートが展示されています。ミュージアムショップや海が見えるカフェもおススメ。
開館時間：8:00～21:00(最終入館 20:00)
休館日：年中無休
鑑賞料金：1,030 円
※ 15 歳以下のお客様とベネッセハウスにご宿泊の方は無料
087-892-3223

本村エリア

● ANDO MUSEUM



Photo:Yoshihiro Asada

直島の多くのアート施設を設計した安藤忠雄の今まで設計した建物の模型、スケッチ、写真などを展示。築約 100 年の木造民家の中に新しい命を吹き込んでいます。
開館時間：10:00～16:30
(最終入館 16:00)
休館日：月曜日
※ 祝日の場合開館、翌日休館
鑑賞料金：510 円
※ 15 歳以下無料
087-892-3754

● 家プロジェクト



Photo: Norihiro Ueno

古い家屋、神社などを改修し、アーティストが家の空間そのものを作品化するアートプロジェクト。全部で 7 軒。チケットセンターの「本村ラウンジ&アーカイブ」はグッズショップと併設されているため、アーティストのデザイン T シャツなどもあります。
開館時間：10:00～16:30
※「護王神社」の本殿と拝殿はいつでもご見学、参拝いただけます。
休館日：月曜日
※ 祝日の場合開館、翌日休館
鑑賞料金：共通鑑賞チケット 1,030 円
ワンサイトチケット 410 円
※ 15 歳以下無料
087-892-3223(ベネッセハウス)

「きんぎょ」は要予約
別途 510 円

宮ノ浦エリア

● 直島銭湯「I♥湯」



Photo:Osamu Watanabe

アーティスト「大竹伸朗」による実際に入浴できるアート施設。

開館時間：13:00～21:00(最終受付 20:30)

休館日：月曜日 ※ 祝日の場合開館、翌日休

鑑賞料金：650 円 ※ 15 歳以下 300 円(3 歳未満は無料)

087-892-2626 (NPO 法人直島町観光協会 受付時間 8:30～18:00)

直島へのアクセス



四国香川方面
まずは高松か
 岡山方面
宇野へ

香川県の^{たかまつこう}高松港と
 岡山県の^{うのこう}宇野港から
 直島へお越してください。

最寄りの港から直島へ Ferry

直島には港が二つあります。
 ひとつは、大きなフェリーがつく直島の玄関口「宮浦港」もうひとつは、旅客船などがつく「本村港」です。

高松港	旅客船	約25分	1,220円	直島 (宮浦港)
	フェリー	約50~60分	520円	

※高松に車が渡せる最終のフェリーは17:00です。

宇野港	旅客船	約15分	290円	直島 (本村港)
	フェリー	約20分	290円	

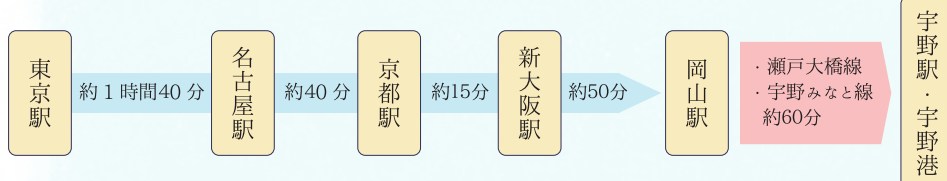
宇野港	旅客船	約15分	290円	直島 (本村港)
-----	-----	------	------	-------------

※料金はすべて片道(大人)です。
 ※旅客船に車両は乗船できません。
 ※本村港への本数は宮浦港より限られています。
 ※詳しい時刻や料金の案内は「四国汽船株式会社」にお問い合わせください。

四国汽船株式会社 TEL: 087-892-3104

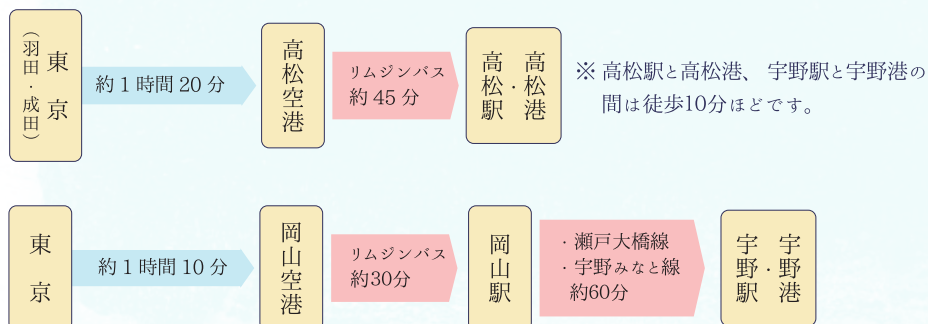
新幹線で Shinkansen

岡山駅は新幹線の停車駅なので、各方面からのアクセスも良好です。



飛行機で Airplane

空港から駅までは頻繁にリムジンバスが出ています。



※掲載情報は2018年2月現在のものになります。掲載内容は予告なく変更する場合があります。